

兵庫県保険医協会

# 但馬支部ニュース

No. 185

2026年4月15日発行

発行 兵庫県保険医協会但馬支部  
連絡先 〒669-5252 朝来市和田山町竹田 2486-76  
はるかぜ診療所 TEL/079-666-8016

第39回支部総会記念企画・感想

## 在宅ケアが地域を強くすると実感

豊岡市・もりやま診療所 守山 洋司



蔵野先生（写真左・左）、和田先生（同・中央）、濱上先生（同・右）が話題提供。50人が参加した

但馬支部は3月7日、豊岡市内で第39回総会を開催。総会議事では2026年度活動方針を採択したほか、新支部長に黒瀬博計先生（朝来市・はるかぜ診療所）を、新幹事にほか2人を選出。また、記念企画「但馬地域の在宅医療の未来を語る」では、濱上知宏先生（新温泉町・ぽかぽか在宅ケアクリニック）が「在宅ケアの充実で地域を強化する～但馬で生ききるために～」をテーマに、和田陽介先生（豊岡市・あかつきホームケアクリニック）が「リハ専門医が在宅医療を始めたら～回復の可能性を見逃さない医療の現状と課題～」をテーマに、蔵野彰王先生（香美町・蔵野歯科医院）が「食支援のための口腔ケア」をテーマにそれぞれ話題提供。会員・コメディカルら50人（来場20人/Zoom30人）が参加・交流した。守山洋司先生の感想を紹介する。

3人の先生方のお話を伺って自身の診療スタイルを深く省察しました。  
濱上先生の提起された、但馬という広域エリアを少人数でカバーするための

（2面へ続く）

## （1面から続く）

「無理のない緩いつながり」というコンセプトと、手段としてのICTやDXを駆使した「情報共有の高速化」「強固な多職種連携」という「面」での支援体制は、洗練されたプレゼンも相まって非常に衝撃的でした。診察場所を診察室から自宅に移しただけの「ただ訪問するだけの医者」であった自分を痛感し、効率化が進む時代に取り残されている現状を浮き彫りにされた思いです。

和田先生からは、リハビリテーション専門医としての役割と「回復の可能性」を見逃さない視点を学びました。豊富な症例の中で、歩行障害や嚥下障害が改善した例をご紹介いただき、リハビリテーションアプローチの重要性を実感しました。

蔵野先生からは「食支援」における医科・歯科連携の重要性を学びました。特に食事に支障をきたす口腔乾燥の原因となり得る薬剤が示されました。

歯科、栄養士、看護師、薬剤師といったあらゆる職種の方を医師が有機的に結びつけようとする姿勢は、まさに私が目指すべき理想の在宅医療の姿です。今回得た気づきを一つでも実際の診療に活用できるよう、真摯に努めていきたいと考えています。

最後になりましたが、今回の総会議事では、私も新幹事に選出されました。地域医療の改善のために、少しでも尽力できればと思っております。

### 兵庫県保険医協会但馬支部役員 敬称略・五十音順（2026年3月～2028年2月）

支部長	黒瀬 博計（朝来市）新	幹事	濱上 知宏（美方郡）新
副支部長	藤井 高雄（豊岡市）		古澤 倫代（美方郡）
幹事	喜井 恭子（新温泉町・歯科）		守山 洋司（豊岡市）新
	坂本 健一（朝来市）		山田 真義（美方郡・歯科）
	谷垣 正人（豊岡市）新		由良 徹也（豊岡市・歯科）
	千葉 義幸（豊岡市）		吉田 仁志（豊岡市）
	野田 昌男（豊岡市）	顧問	谷 尚（養父市）

## 2026年度但馬支部活動方針

- ① 紙面づくりを工夫しながら支部ニュースの定期発行を目指す。会員登場コーナー「但馬の息吹」欄のインタビューを行う。
- ② 幹事会へのより多くの会員の参加を模索し、活発化を図る。
- ③ 全病院を訪問し、医局での資料配布などの勤務医対策に努める。
- ④ 公立病院・医師確保課題や各病院の病床問題について注視していく。
- ⑤ 接遇研修会や臨床研究会、他科を知る会など会員ニーズに即した企画を具体化する。
- ⑥ 2026年度診療報酬改定研究会（医科4/11／歯科4/26）を開催する。



## 幹事会だより

第260回 3月26日（木）参加6人

### ◆但馬支部の会員数と組織率

3/26 現在 医科99人（89.0%）、歯科37人（49.3%）

### ◆2026年度 診療報酬改定研究会

・（医科）4月11日（土） 15:00～17:00 講師：守山洋司先生、藤井高雄先生

\*講師検討会は3月29日（日）

会場：日高地区コミュニティセンター多目的ホール

・（歯科）4月26日（日） 14:00～16:00 講師：山田真義先生、水野良司先生

\*講師検討会は3月22日（日）

会場：日高地区コミュニティセンター2F会議室6

### ◆次回幹事会

4月23日（木）19時～「日高地区コミュニティセンター」にて開催予定

お問い合わせはTEL 078-393-1809 吉永まで

## 健康情報テレホンサービス

携帯電話 **(078) 393-1824** 固定電話 **(0120) 979-451**



★24時間いつでも3分間程度の開業医の手作りの健康・医療情報を放送しています。

★インターネットでもご覧いただけます。過去の放送分もキーワード検索できます。URLは、<http://www.hhk.jp/> 左下のバナー「健康情報テレホンサービス」をクリック。

2次元コードはこちら



### 【4月のテーマ】

月曜日 こどもの肥満

火曜日 口腔機能低下症

水曜日 尾てい骨の痛み

木曜日 加齢性難聴（老人性難聴）

金土日 金属アレルギー

### 【5月のテーマ】

月曜日 緑内障

火曜日 薬の飲み方

水曜日 一過性低血圧

木曜日 バセドウ病

金土日 職場関連の「うつ」

\*休祝日は前日のテーマを放送します。

★患者さんに配布していただける放送テーマのミニチラシ（A6サイズ）を作成しています。送付ご希望の医療機関は事務局☎078-393-1840まで。

# 兵庫県保険医協会第107回評議員会のご案内

2026年4月  
兵庫県保険医協会  
理事長 西山 裕康

協会は第106回評議員会後の半年、医療費抑制政策を転換し診療報酬抜本的増を求める運動、保険証廃止・オンライン資格確認義務化撤回を求める運動をはじめ、診療報酬改定対策、経営対策など会員の身近な要求に応える様々な活動を行ってきました。2026年度の活動方針を協議するため、標記の会議を開催いたします。万障お繰り合わせの上ご出席いただきますようご案内いたします。

■日時 5月17日(日)13時～ ■会場 兵庫県保険医協会5F会議室

○第107回評議員会 13時～  
〈議題〉2025年度会務報告と2026年度活動方針案の件、2026年度予算案の件、他

○特別講演 16時～

## 患者への「応能負担」が 生み出すもの

立教大学経済学部 教授 安藤 道人 氏



現在、政府は、高額療養費制度の上限額引き上げや金融所得捕捉による後期高齢者の2割・3割負担対象者の拡大など、患者の自己負担増政策を次々と進めようとしています。これらの政策の根拠となっているのが、窓口負担の「応能負担」です。社会保障制度や地方財政制度とその住民への影響について、計量経済学の立場から研究され、所得水準によって、窓口負担割合が変わるといふ「応能負担」の問題点を指摘されている安藤先生に、患者負担の「応能負担」が患者・住民にどのような影響を与えるのか、今後の政策はどうあるべきなのか。お話いただきます。

あんどう・みちひと 一公共経済学・社会保障論・応用計量経済学が専門。2005年一橋大学経済学部卒業、2007年同大学院社会学研究科修了、2015年ウプサラ大学（スウェーデン）にて経済学博士号（Ph.D）取得。2007年～09年（株）三菱総合研究所研究員、2014年～17年国立社会保障・人口問題研究所研究員、2017年～23年立教大学経済学部准教授、2024年4月より現職。2023年より尼崎市学びと育ち研究所主席研究員。著書に『母の壁 子育てを追いつめる重荷の正体』岩波書店（共著）など。近著に「高額療養費改革案はどう見送られたのか：2024年度案の政策形成・修正過程と患者運動」（『医療経済研究』、共著）、「能力に応じた自己負担」といふ政策哲学とその限界」（『現代思想』）など

返信 FAX 078-393-1802

■第107回評議員会

出席します  欠席します

■特別講演（16時～）

参加します（会場の都合上、事前の申し込みをお願いします）（ ）人

地区 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

兵庫県保険医協会

650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F  
TEL078-393-1817 FAX393-1802